

2025 名古屋大学（前期）英語（全学部共通）概評

出題分析			
試験時間	105 分	配点 ※	大問数 4 題
分量（昨年比較）	〔減少 同程度 増加〕	難易度変化（昨年比較）	〔易化 同程度 難化〕
<p>【概評】 名古屋大学の英語は、長文読解総合問題 2 題、会話文総合問題 1 題、自由英作文問題 1 題の大問 4 題構成である。大問別に見ると、長文読解総合問題の I・II では、空所補充などの選択問題の他に、記述問題として内容説明や下線部和訳が出題される。会話文総合問題の III では、設問が英文で書かれている。自由英作文問題の IV では、今年はソーシャルメディアに関する問題が出題された。</p>			

※ 学部・学科による。詳しくは募集要項を参照。

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	長文読解総合問題 「イギリスの鉄道で提供されていた食事」 ○語数：792 語 (昨年度)653 語	イギリスの鉄道の黎明期に提供されていた食事について述べた文章。1. の空所補充イは前文の補足を表す In fact に続く内容が入る。2. の和訳は続く文がヒント。4. の和訳は日本語の表現が難しい。6. の内容一致の (C) は第 2 段落第 1 文参照。(E) は第 6 段落最終文参照。	標準
II	長文読解総合問題 「言葉と思考との関係」 ○語数：795 語 (昨年度)689 語	言葉が思考を形成するのか、あるいはその逆かについて述べた文章。1. 下線部に入る「例」は、コロナとの闘いが長期にわたることから、 marathon のワードを含む選択肢が適切。3. 空所補充の III は (D) の the same の否定と続く文の a wide range of discourses との対応がヒント。5. の空所補充は言語的決定論と言語的相対論との対比から。	やや難
III	会話文総合問題 「50 年後の未来」 ○語数：604 語 (昨年度)550 語	未来について希望的な見方をしている Sandra と、それに対して懐疑的な Robert の 2 人の会話。1. は下線部の前の in the fields or the mines がヒント。2. the Wild West は無法地帯の比喩。3. は正答を探し出しやすい。4. の (A) の正誤については、Sandra の Perhaps, at first の意味合いをしっかりと捉える必要がある。5. の英作は会話内容を利用する手もある。	標準

IV	自由英作文問題 「ソーシャルメディア」	1. はソーシャルメディアが社会にどのような影響を及ぼしたかを第三者の視点で述べる。「ソーシャルメディア」というものを具体的にどう捉えるかで、解答内容が変わってくるだろう。2. は平易で、明快である。ソーシャルメディアがなければ、自分の人生はどう変わっているかを2つの理由を挙げて、個人の視点で述べればよい。解答例はソーシャルメディアのもたらす煩わしさから解放されるという方向で作成した。	標準
----	------------------------	--	----

合格のための学習法

重厚な英文を出題する名古屋大学の入試で高得点を取るには、辞書を使っの、じっくり時間をかけた勉強が必要になる。1学期の早い時期に基本文法を理解しながら体系的に身につけ、英文のしくみを理解しておこう。同時に、辞書を使ってゆっくり英文を読みはじめよう。辞書が使えなければ英語は伸びない。焦って速読練習などを決してしてはならない。入試英語に速読などいない。少ない問題を深く読み、丁寧に書く訓練を続けていけば、スピードや量は後から自然についてくる。速さや量よりも正確さが重要だ。すぐに結果を求めてはいけない。「継続は力なり」である。地道な努力を毎日積み重ねることに楽しみを見いだせる人間こそが、合格の栄冠に輝くのである。勉強を楽しめる人間になろう。